

ディアコニア



巻頭説教

あなたの創造主を心に留めよ

牧師 伊藤 瑞 男

青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ。

「苦しみの日々が来ないうちに。

「年を重ねることに喜びはない」という年齢にならないうちに。太陽が闇に変わらないうちに。

その日には

家を守る男も震え、力ある男も身を屈める。

粉ひく女の数は減って行き、失われ、窓から眺める女の目はかすむ。

通りでは門が閉ざされ、粉ひく音はやむ。鳥の声に起き上っても、歌の節は低くなる。

人は高いところを恐れ、道にはおののきがある。

人は永遠の家へ去り、泣き手は町を巡る。白銀の糸は絶たれ、黄金の鉢は碎ける。泉のほとりに壺は割れ、井戸車は碎けて落ちる。塵は元の大地に帰り、霊は与え主である神に帰る。

なんと空しいことか、とコヘレトは言う。

すべてに耳を傾けた結論。

「神を畏れ、その戒めを守れ。」

これこそ、人間の全て。

(「コヘレトの言葉12章1〜13)

「コヘレトの言葉」(口語訳では「伝道の書」) 12章冒頭の、「青春の日々にこそ

あなたの創造主に心を留めよ。・・・『年を重ねることに喜びはない』と言う年齢

にならないうちに」という言葉はよく知られた言葉です。老齢になってから健康

の衰え、様々な病気に直面して嘆くだけの生活になる前に、あなたの創造主である神様を信じなさい、という勧めは真実

です。私も若い時この言葉に出会って、信仰に導かれました。

しかし、その後によく言葉はわかりやすいものではありません。従来、これは、高齢者が経験する肉体的衰えを示す比喩的表現であると解釈されてきました。例えば、4節の「通りでは門が閉ざされ」という言葉は老人の便秘に苦しむ姿を示しているという解釈を、著名な説教者から聞いたことがあります。私はその解釈の奇抜さに驚きました。

昨年から続いているコロナウイルスパ
ンデミックの中で世界の諸都市で封鎖が行われ、ゴーストタウン化している街頭がテレビに映し出されるのを見て、私はこの4節の言葉を思い起こしました。そして、これは文字通り、町がロックダウン(封鎖)された様を描いているのではないか、という思いに至りました。

そう思って前後の文を読み直すと、感染症に侵された町ないし共同体の姿が浮かび上がっているように思われます。

「家を守る男も震え、力ある男も身を屈める。」

・・・これは、老人ばかりでなく、若い

男たちも衰えていることを示しているのではないでしょうか。

「粉ひく女の数は減っていき、失われ」

・ ・ ・ 粉をひく働き盛りの女たちも病にかかり、数が減っていく様が描かれています。

「人は高いところを恐れ、道にはおののきがある。」

・ ・ ・ 感染症を引き起こす目に見えない病原体（それを悪霊と呼んだかもしれない）がいたるところに潜んでいるのではないかと、人々は恐れ、おののいています。

「泉のほとりに壺は割れ、井戸車は砕けて落ちる。」

・ ・ ・ 人々が水を汲む泉や井戸は手入れされず、荒れ果てています。

「人は永遠の家へ去り、泣き手は町を巡る。」

・ ・ ・ 人々は次々と亡くなり、死者を悼む泣き声が絶えず聞こえます。

このような光景は、単に老人が衰え、病気に苦しむ姿を示しているだけでなく、

疫病に襲われた町の共同体全体がいかに悲惨な孤立無援の崩壊に陥るかを示しているのではないでしょうか。

3節の「その日には」という言葉は、旧約聖書ではしばしば終末の日を意味します。ここでも、疫病は終わりの時に起こる危機の一つとして、預言の言葉がコヘルトに与えられたのだと思われま

す。これは恐ろしい預言です。こんな危機は考えたくもないと誰しも思います。しかし、人々が密集して住む城郭都市では、籠城戦の時、疫病が襲ったことがエレミヤ書などに記されているので、この危機へのヒントはあったのです。

そして、このコヘルトの時代から二千数百年経った今、この危機が全世界規模で現実となったのを見て、私たちは呆然としています。科学技術を発達させた私たち現代人は、大規模な感染症は克服したという思い上がりがあったのだと思われ知らされたのです。

私たちは、このような危機に対してど

う対処すべきでしょうか。コヘルトは「あなたの創造主を心に留めよ」と言います。また、「神を畏れ、その戒めを守れ」と言います。創造主である神を信じるならば、その戒めを守ることが求められます。

戒めとは何でしょうか。戒めは多くあるように見えて実は二つにまとめられます。第一に「神を愛すること」、第二に「隣人を愛すること」である、と主イエス・キリストは言われました。

(マルコ12章28〜34節)

では、どのようにして神を愛し、隣人を愛することができるのでしょうか。

それはイエス・キリストが教え、実践なさいました。それゆえ、私たちは主イエス・キリストを見上げて従うのです。

この聖書の答えは科学に基づいたこの世の答えとは違いますが、それと同様にいやそれ以上に深く現実根差した答えなのです。

トラウマ治療に携わって

いずみ寮・心理担当

坂本 州子

いずみ寮へは、「ここからだ・光の花クリニック」の院長である白川美也子先生のご紹介で、トラウマ治療をするセラピストとして1か月のうち10日間の勤務をするようになり、早6年目を迎えました。

私自身は2001年三鷹市で「母親研究所」を開設。カウンセリングやセラピー、各種講座などを開催、セラピストとして30年以上、家族の問題から子どもの問題、夫婦問題、対人関係、トラウマ治療も20年近く続けていて複雑性PTSD、パニック障害、統合失調症、強迫神経症、パーソナリティ障害の方などを治療してきました。

いずみ寮の利用者さんたちの概要は説明は受けていましたが、いざ面接を始めると今まで私が経験してきたクライアント

トの方たちとは比べ物にならない位重篤な方たちばかりでした。ほとんどの方が、精神科、歯科、内科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、皮膚科、泌尿器科等に重複通院されていました(現在も)。その症状は明らかにトラウマ反応によるものと思われました。入院が必要ではないかと思われる方たちが集団生活をされていらっしやることには驚きを隠せませんでした。こんなに重篤な方たちがいらっしやるのに、なぜ常駐の精神科医が居ないのか？

——率直に疑問がわいたものです。個別の関わりが必要であろうと思われる方たち。個室があるとはいえ、食事は食堂、入浴は個室もありましたが、数人が一緒に入れる浴室でした。コミュニケーションの難しい方たち、二次被害もありいつトラブルが起きても不思議ではない環境での生活でした。

私が初めて子どもの性被害者を知ったのは、養護施設で保育士として働いていた時でした。当時、3歳から中学3年生

までの8人を担当。ある日、入浴中のA子ちゃんの体に異変を感じ、産婦人科を受診させました。そのとき医師に「男のせいだ」と怒りながら告げられた時のショック。今でも鮮やかに思い出します。そして、A子ちゃんの将来を思うとやりきれない思いになったものです。それから、40数年後、心も身体も深く傷ついた方たちの治療をすることになるとは夢にも思っていないことでした。

いずみ寮に入所している利用者の方たちは、性被害のみならず、DV被害、虐待、いじめ等に加え、発達障害、知的障害なども重なり、過酷な状況を体験してこられた方たちが大半でした。

私にとって、これほど重篤の方たちの治療に携わるのは初めてのことでした。

トラウマ体験は、トラウマ反応としての身体的、心理的、行動面など、あらゆる場面で再体験や脅威感、回避などに加え、認知の歪みも強くなります。少しかきつかけで過去の記憶が蘇り、危険を感じ

じると、Fight (闘争)、Flight (逃走)、Freeze (凍りつき)のどれかの身体症状が現れます。過去の体験に似ている人や、声や態度、音、なども再体験の引き金となります。

また、トラウマの影響は、後遺症として現れ、消えることはありません。トラウマ体験は出来事そのものが瞬間冷凍した状態になり、そのまま記憶されてしまうからです。

通常の記憶は睡眠時に脳が長期記憶に変換するため、日が経てば忘れてしまいがちなのですが、トラウマ体験は記憶がそのまま残ってしまいます。トラウマ反応は、身体的反応としては、食欲不振、息苦しさ、発汗、腹痛、下痢、頭痛、だるさ、眠れない、身体のかゆみ、慢性疲労、慢性疼痛、過食拒食等。心理的反応としては、鬱、気分の変調、情緒不安定、怒りっぽい、急に興奮する、自分を責める、落ち込み、不信心、人への恐怖等。PTSD反応としては、フラッシュバック、悪夢、睡眠障害、いらいら、過剰な警戒心や過敏症。解離症状として、恐怖

からくる回避行動、感情の麻痺、身体凍りつき、ぎこちなさ、たちずくみ、ぼんやりする、目の焦点が合わない、集中できない、固まる等。行動面の反応としては、多動、多弁、集中困難、沈黙、無表情、乱暴、意欲の減退、リストカット、自傷行為、希死念慮、等といった症状が現れます。

また、過去のトラウマティック体験は身体が全て記憶しているのみならず、脳にも影響を与えます。マルチリトメント(不適切な養育)を受けた子どもの脳は一次視覚野の萎縮18%減少、紡錘状回(ぼうすいじょうかい)18%縮小、前頭前野19%縮小、視覚野は逆に14%増加することが分かっています。

治療技法

トラウマ回復には様々な技法があります。私が使用する技法は次のようなものです。

*EMDR——眼球運動による脱感作と再処理法。過去の恐怖体験を解放へ導く。
*TFIT——思考場療法。経絡をタツピ

ングすることで、PTSD、うつ病、不安、依存症、恐怖症などの心理的問題を和らげるのに効果的。

*ホログラフィートーク——感情や感覚に意識を向け、感情や症状を外在化し、患者自身の気づきと、対話を通して安定化、トラウマ処理を行う

*ブレインジム——(吸法を取り入れ、右脳と左脳のバランスを取ることで安定化する。

*イメージ療法——自己イメージで自尊心を高める。

*アロマオイルマッサージ——感情を和らげ、神経を安定させる。

*マインドフルネス——呼吸、身体への観察、現在の瞬間に意識を向ける方法を学習する。

*心理教育

*ライフスタイル診断——認知の誤りを修正し、人付き合いを改善する。

治療をスタート

多くの方は、ご自分がトラウマ体験者であることをご存じでした。それは、い

ずみ寮の横田寮長が20年も前に白川先生と出会い複雑性PTSDは性被害のみならず、DV被害や虐待を受けた人であり、治療が必要であることを、利用者の方たちに心理教育がなされていたからではないかと思われました。実際に寮内で治療を始めたのは、おそらく私が初めてであったと思われます。ですからトラウマ体験を治療することに少なからず抵抗(何をされるかわからないという思いや疑心暗鬼)はあったかもしれません。

一日目、真つ先に治療を申し込まれたのは、寮長が「この方が一番大変なんです」と仰った方でした。その方は心理室に入るなり「トラウマ治療をしてください」と言い、苦痛体験をA4用紙の両面にびっしりと書いてくれました。

「私は誰も信じていない」と言いながら恐怖体験を語る方。泣きながら親からの虐待体験を語る方。ある方は治療を続けたいと懇願されましたが、ある日、フラッシュバック、その後入院、寮に戻ることなく退寮されてしまわれました。いつも落ち着かず職員を捕まえては、話を

したがる方は、面接中心理室の壁を指さして「赤い顔の首が・・」と言って解離したかと思うとそのまま1時間近く動かなくなっていました。治療中に突然カタルシスに陥り、大声をあげて、延々と30分以上も肩を震わせ号泣、寮長があまりの激しい泣き方に心配して心理室で私が困っているのではないかと覗きに来て下さることもありました。

フラッシュバックやリストカットで入院された方には、病院に向き面接室をお借りして治療をさせていただいた方も4人位になりました。病院内で治療中、病院の職員の心ない言葉にフラッシュバックした方がいて、その方は、かなり治療が進んでいたのですが、感情が高ぶり、治療を拒否、そのまま退寮されてしまわれました。トリガーを避けることは出来ないし、何がその人にとってトリガー(引き金)なのかは予測が出来ません。一旦、恐怖が蘇ると恐怖と怒りをコントロールできないだけに、簡単に解離してしまう脆弱性があり、寮生活に戻りたくない方は、自分にとって安全でない

と思うと、その場から逃げるという選択をされてしまいがちでした。治療の途中で退寮されてしまうと治療は中断され、残念に思うことは度々でした。

また、トラウマ治療を受けないまま退寮してしまわれた方が、数か月も立たないうちに「男の人が怖い、電車やバスにも乗れない、昼間でもカーテンを閉め、家に閉じこもり、外にも出られない」という状態になってしまいました。治療を受けるためにいずみ寮にも来れないのです。退寮者の方の送迎は忙しい支援員の方には負担だったのですが、一人で電車やバスに乗れるようになるには治療するしかないことを伝え、無理にお願いし送迎して頂き治療した方もいます。

トラウマ体験をした方の中には、辛さを感じたく無い為、自ら感情を閉ざしてしまいう方もいます。そのほうが人に嫌みを言われても感じなくて済むからです。失感情の方を治療し感情が戻ると、顔の表情に変化が見られ心から嬉しそうな表情に安堵したものです。

トラウマ体験と発達障害が重なって

ると、感情を回復させることは難しいものがあります。それは前頭前野が傷ついているためです。それでもトラウマ治療をすることで、解離症状は治まってきます。

いずみ寮の方たちの中には自分がトラウマ体験者であることは分かっている方も、治療をうけたくないと思っている方もいらっしゃると思います。どんなに支援員の方に勧められてもフラッシュバックを起こしても拒否。治療や治療者に対する抵抗が強く現れる「心理的逆転」が起こります。これは、利用者の多くは自己否定的であり、慢性的な罪悪感や激しい恥の感情に苦しみ自己の価値や意味を委容させていることに加え、自己コントロールが出来ず強い否定感や絶望感を持っていて自分が救われるとも思っていない、誰にも救えないと思っていることが強い抵抗としてあると思われました。そんな中で救世主が現れました。

精神科医白川先生の往診スタート

昨年7月からお忙しい中、月に1回の

往診診療を白川先生がして下さることになりました。

治療や治療者に対し強い拒否感を示していた重篤な方々が、精神科医でトラウマ治療をして下さる白川先生の受診を支援員の方に促され受診し始めたのです。

日常的に病院通いで医師の診察を受けていた方たちにとって、医師を受け入れる態度があることと、治療と言うよりは、病気に詳しく、身体症状を受け止めてもらえるという心理的な安心感があるのではないかと思われました。

理由はどうであれ、白川医師の診察を受け始めた利用者の方たちは、初め自ら語る方は少なかったのですが、回数を重ねる度に先生の診察を心待ちにするようにまてなつたのです。

白川先生が月に1度往診診療をして下さることで、利用者さんたちの治療後に変化がみられ回復していかれる様子を目の当たりにし、嬉しく思っています。

6年前、いずみ寮の実情を見た時、なぜ、精神科医が常駐していない、なぜ、夜勤の看護師が居ないのかと疑問を持つ

ていたことが、白川先生のご厚意で実現したことは、仕事をしていく上で大きな励みであり、何よりも利用者さんたちが自分も回復したいという思いに駆り立てられているように思えてなりません。

このような状況の中で、寮長の目指される「心の回復」は一步一步実現に向けて歩み始めています。

いずみ寮での初日「この方が一番大変なんです」と寮長がおっしゃっていた方は、今では退寮して一人暮らしを始め、感情をコントロールするようになり「毎年2回は入院するんです」と言っていた言葉とは裏腹に「入院しないように生活していきます」と言い、職場の対人関係も自分で解決できるようになり、趣味に目を向け、今を生きることを楽しんでいらっしゃると思います。

一人でも多くの方が「心の傷」を癒し、心から人生を楽しんで欲しいと願いつつ、利用者の方たちと向き合っています。

コロナ禍での保育園

茂呂塾保育園

島田 三恵

今までにない「コロナ禍」という言葉
を耳にしたのは2020年春の頃になり
ます。先のことが高く予測不可能であり、
これからの保育園のあり方を考えていか
なければならぬ状況になりました。世
の中に大きな変革をもたらしたこのウイ
ルスと共存、共生していかなければなら
ないwithコロナ時代を歩み始めること
となったのです。

私たちが緊急性を持ってこの新型コロ
ナウイルスの対応にあたったのが202
0年4月のことでした。区から園児の登
園自粛の要請があり、それに伴い「感染
防止」と「命を守ることを最優先し、
保育規模の縮小を決断し、通常なら7時
から19時の開所時間を、9時から17時の
短縮に踏み切りました。この不測の事態
に保護者の方のご理解を頂き、登園自粛
できる方は家庭保育を、やむを得ない事

情のある方には短縮保育を行いました。

この状態が5月末までの約2か月間続き、
職員も3グループに分かれて出勤自粛を
いたしました。登園できない子ども達の
ために何ができるか、私たちにとっては
大きな課題です。閲覧限定で絵本の朗読
動画を試みたり、家で楽し

りません。2階にある午睡室を保育室と
して使用し、仕切りの壁は必要に応じて
外しました。子ども達が密にならないよ
うに集まり方や座り方、トイレに行く並
び方に至るまで細かく検討しました。遊
びも極力クラスを行き来しないように考
え

ました。食事の間では
向かい合わせにならないよ
うな配置を考え、部屋の都
合上それができないところ
はオリジナルのパーテー
ションを作って頂きました。
また本来なら子どもができ
る盛り付けも、トングを使
う理由から手を介しての感
染を防ぐために職員が行う
ように配慮しました。あら
ゆるところでのリスクの洗
い出しは尽きません。消毒
や換気はもちろんのこと、



その一つ一つを検討し職員
間で共有をしていかなければなりません。
そのために初のSDG会議が行われまし
た。まずは保育室をどうするか、密を避
けるため部屋を大きく使用しなければな

手洗いの重要性から、いかに子ども達に
楽しく手洗いをしてもらうか、また密を
避けるために園庭をどのように使用して
いくか、大人はマスク使用をしているが

子ども達はどのように考えていくか、保護者や来客者（業者を含む）はどこまで園の中に入れるか、子ども達や同居の保護者、職員や来客者の健康チェックなど細部に至るまで検討しました。現在、保育室は通常に戻っていますが、色々なことを進めるにはそれぞれメリット、デメリットがあります。そのデメリットをいかに最小限に抑えるかをよく話し合いました。

通常の保育が始まると、コロナ対策として行事をどのように進めるか、また体調面での園の取り組みをどのようにするかを考えなければなりません。時とともにコロナのことが少しずつ分かってきました。保護者との懇談会や、新入園児募集にあたり園の見学会などオンラインが可能なものに関してはオンラインで行い、また感染者数や国や都、自治体の指示に従い対面が可能な時は対面と臨機応変に対応しています。

運動会、クリスマス会、卒園式は最も密になる環境です。コロナに関係なく、子ども達にとって最善と思われることに焦点をあて、行事の見直しを行っていた

頃でしたので、コロナ禍を通して、大きく見直すきっかけにもなったと思います。

運動会、クリスマス会は保護者にとつて、子どもの成長を見られる時でもありますが、密を避けるために、参加人数の削減も考えなければなりません。どの年齢までの参加にするか、またその年齢以外の子ども達と保護者にはどのようにして子ども達の姿を伝えるかなど検討事項は次から次へと出てきます。コロナの状況によっても変わっていきますので、昨年と今年の方方は当然変わっていきます。昨年の運動会は4・5歳児のみ参加で、保護者は一人につき一人とさせて頂きました。子ども達の様子は、この頃にオンラインで懇談会を行い、その時間を利用して日頃の運動会ごっこの様子を流すことにしました。茂呂塾の運動会ごっこの様子が本番スタイルですので、日頃の様子でも子ども達の姿をお伝えすることができたと思います。クリスマス会は0〜2歳児クラスと3〜5歳児クラスに分かれて行ない、保護者参加はこちらも一名とさせて頂きました。ページェント

の映像をプロの方にお願ひして事前に撮影し、希望者は購入できるようにしました。今年の行事に関しては、昨年の反省も含め今年のやり方で進める方針です。

もう一つ決めなければならないことは、子どもや保護者、職員やその家族に体調不良や発熱者が出た場合の対応、感染者が出た場合の対応についてです。これらに関しては国や都、自治体が打ち出していることをベースに作成し、現在に至っています。

コロナ禍での保育園は、今起きている状況から今の対応を考えていくことと、先のことを推測しながら対応を考えていく二面性を持っていると思います。コロナ禍による子ども達の発達リスクを軽減することも大事な事です。これからの保育園を考える上で、このコロナ禍は色々なことを考えるきっかけになっているのではないのでしょうか。先が見えない（収束の兆しがわからない）現状ではありますが、子ども達にとってより良い環境の場となりますよう努めていきたいと思えます。

売春防止法からの脱却

新法制定まであと一歩！②

全国婦人保護施設等連絡協議会
会長 横田 千代子

与野党合同勉強会でのヒヤリング

2021年5月13日、与党PTより「困難な問題を抱える女性への支援の新たな法的枠組みの骨子」(与党骨子案)が出され、取り急ぎ「困難な問題を抱える女性への支援のあり方に関する検討会有志」(村木太郎・一般社団法人若草プロジェクト理事；戒能民江・お茶の水女子大学名誉教授；堀千鶴子・城西国際大学教授；全婦連会長・横田千代子)で、5月18日、与野党議員に「女性支援のためのシンポジウムに関する緊急要望書」(9項目)をまとめ提出しました。

6月10日、与党PTの呼びかけにより与野党議員勉強会初会合が、参議院議員会館にて開かれました。自民党(橋本岳議員)・公明党(山本香苗議員)・立憲民主党(西村智奈美議員・池田ま議員)・共産党(本村伸子議員)が参加下さいました。

新法は議員立法で

会議の場では、新法制定までについての流れを、戒能先生が説明され、全婦連は横田が婦人保護施設の現場から法改正の必要について、発言を致しました。質疑応答の中、新法は超党派による議員立法として、全員の共通認識が得られました。その流れで6月18日、検討会有志で国民新党(矢田わか子議員) 6月23日、維新の会(石井みつ子議員)・共産党(倉林明子議員)を訪問し、法改正への一歩を進めるべく、更なる超党派勉強会開催の合意を得ることが出来ました。

停滞している流れの中で歩みを進めて

8月には本格的な与野党合同説明会の予定し、秋の臨時国会で法改正を・・・と計画していましたが、突然の総裁辞職、衆議院選挙を間近に控えて、ロビー活動もままならず、活動が滞りました。でも歩みを止めるわけにはゆきません。まずは、支えて下さる皆さんと共に、内々での意見交換会を進める事に致しました。

9月22日、婦人保護事業の3機関、婦

人相談所長全国連絡会議(三木明香会長)・全国婦人相談員連絡協議会(赤池恵理会長)・全国婦人保護施設等連絡協議会(会長横田)・さらに都道府県から大阪府子ども家庭室(林美恵子家庭支援課長)にご参加頂き、状況報告(リモート)を交え、意見交換を行いました。

10月27日には、民間3団体、全国女性シェルターネット(理事 近藤恵子さん) コラボ(代表 仁藤夢乃さん)若草プロジェクト(代表理事 大谷恭子さん)の意見交換会がありました。民間の赤裸々な現場の報告で今、社会で起きている女性支援(特に若年女子)のニーズに対応するために、全国格差なく公的機関と民間団体の連携が必須であることを社会化していく責務を感じました。

11月17日には、民間3団体バンドプロジェクト・ゆずりは・ピッコラレの皆さんとの意見交換会を予定しています。さらに、国会が落ち着いてきたら早々に超党派(与野党)議員との説明会を開きたいと願っています。

(いずみ寮 施設長)

ゆくよき
ニギハヤクから
ひまこと

戦ひにしあわせあらじ終戦日

秋寒し言い難きこと言ひ難く

郷愁をそそりせつなき秋の蝉

秋蘭けて虚しき思ひ抜ひ得ず

秋晴や良き人たちに囲まれて

植木道子

*

毎日元気にしています。一日のほとんどはテレビのニュースを見たり、縦になつたり横になつたりしています。(笑)

私は、幸い退屈にならない性格で、その時に応じて楽しむことができます。どこかに出かけられなくても、苦しいとは思いません。でも、コロナが収まり、外に出かけられるようになったら、いずみ

お過ごしください。

真山知恵子

*



い、お赤飯と

天ぶら御膳を

美味しい美味

しいと食され

ました。

手のリハビリ運動は毎日欠かさずに行っています。(相浜ガーデンより)

*



2021年10月7日、午後10時41分千

葉原沖を震源とした「震度5強」の地震がありました。私は床につこうとしていた矢先で、その後の情報を聞いていたら

恐怖で眠れずにごしました。

翌朝のニュースで、被害の少なかった事を知り、ほっとしました。広い建物の中での一人暮らしは、夜間の不安は時々ありますが、神さまのご加護を祈り乍らすごしています。

*

細井陽子

毎年9月上旬に行われていた「みんなの音楽会」、かにた夏まつりの最後を飾る音楽会が、コロナ感染症の拡大のために延期され、10月の最後の週に行われました。2年前までのプログラムと比べて、ぐっと縮小され、出演はグループでなく一人で、また、感染予防のためのアクリル板を前に設置して。

出演者は15名。歌8名、リコーダー2名、ピアノ2名、歌とギター3名でした。そして全員で3曲の歌。

すばらしい2時間でした。たんぽぽホールには、やすらぎ、すべてのしがらみから解き放たれたやすらぎが、参加者全員を包んでいるように感じられました。懸命に演奏する姿に感動し、更に、「かいたの群れ」に感動しつつ。天羽道子

賛助金・寄付金

ありがとうございました。

★ 訃報

三宅美彌子姉、細井陽子の祈りの友として、長い間お支えくださいましたが、

4月3日に召天されました。

西川敦子姉、天羽道子の祈りの友として、長い間お支え下さいましたが、7月10日に召天されました。

小暮牧子姉、細井陽子の祈りの友として、長い間お支えくださいましたが、9月1日に召天されました。

生前のお交わりを心から感謝し、ご遺族の方々には天父の深い慰めと平安をお祈りいたします。

★ 茂呂塾保育園が「いたばしグッドボラ
ンス」推進企業として表彰されました。

★ 2022年版 日々の聖句

ご希望の方は、法人本部までお申込みください。2021年版から、文字を変更・拡大しました。また、ドイツ語版のルター訳(LUTHERBIBEL2017)の御言葉の力強さを直接味わうことが出来るように、独自翻訳を多く用い、日本語聖書

の最新版「聖書協会共同訳、新改訳2017」からの引用もするようにしました。

★ 編集後記

主の大いなる御名を賛美いたします。皆様からお寄せ頂きました沢山のご支援に心から感謝申し上げます。今後とも引き続きお支え頂けますよう重ねてお願い申し上げます。全世界におけるコロナの終息を願いつつ、皆様の上に主にある平安と恵みをお祈り申し上げます。良きクリスマスをお迎えください。

2021年11月15日発行(年3回)

発行人 大沼昭彦

編集人 村田英彦

印刷所 (株)印刷センター

発行所

〒178-0061

東京都練馬区大泉学園町7-17-30

社会福祉法人ベテスタ奉仕女母の家

電話 03-33924-2233

<https://www.bethesda-dmh.org/>

振替口座 001900-2-1338164

伊藤隆史、今井佳代、入笠山讚美の家、上杉洋子、大曾根聡子、大浜亜紀、加藤隆子、金岡飛鳥、樺澤幸雄、河野健児、菊地美登里、金はぬる、後藤信子、酒井忍、佐藤聡美、澤村幸子、姉妹会、瀬戸真知子、高田由利美、中山勝也、貫井大輔、野瀬陽子、橋本展子、畠山重信、花田こずえ、浜田めぐみ、平山嘉繁、福本和代、藤田雅子、藤巻契司、堀越教子、村田充子、山口洋子、山田真規子、ファームニシヤマ永井雅子、湯澤直美、余郷志津子、横田哲子、横田碩子、脇坂ゆかり、日本基督教団牛込弘方教会山ノ下恭二牧師、同 田浦教会エレミヤ会、明治学院中学校東村山高等学校、金室武子(以上本部扱)、朝倉福子、浅田節子、熊田てる子、倉岡珠江、兼宗房子、澤村幸子、筒井克子、鶴田淑子、伏木喬子、丸山てる子・紀久子、無藤信子、浴本明栄・泰子、原田純子(以上姉妹会扱)

(敬称略 7月1日～10月20日)